

第4学年星組 4星の大切な心ー応援し合いー

指導者 辻 健一

単元目標

- 目標や夢を持つことの大切さに気付き、自分でやろうと決めた目標に向かって粘り強くやり抜こうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。
- 自分を支えてくれている人の思いを考えながら感謝する対象を広げ、感謝の気持ちを持って接しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。
- 相手の気持ちを自分のことのように考え、進んで親切にする道徳的心情を育てる。

全5時間（プロジェクトタイプ×スパイラル型）

子どもの姿と支え方

Choice（第1時）

「みんなの問い」やその問いを解決するための方法を選ぶことができるように、内容項目を提示したり選択肢を挙げたりして子どもが選択できる場を設定する。

Challenge（第1時）

自分事の問いを持つことができるように、学級目標と関連付けた学習テーマを提示する。

「本当の応援をされる人ってどんな人？本当の応援ができる人ってどんな人？」
「できるようになったよ発表会」を成功させよう！（くすのき学習）・持久走大会

出合い

第1時：学習計画を立てよう。

追究

第2時：応援される人ってどんな人だろう？
（A 希望と勇気、努力と強い意志
「年賀状にかいた夢ー奥原希望ー」）

第3時：応援されるとどんな気持ちになるのだろう。（B 感謝「朝がくると」）

第4時（本時）：応援するときはどんな心が大切なのだろう。
（B 親切、思いやり「心と心のあくしゅ」）

振り返り

第5時：「みんなの問い」について考えよう。

「学びに向かう力」が涵養されている姿

よりよい生き方や「応援し合う」の実現に向けた「なりたい自分（応援される人・応援する人）」を再構築し、道徳的態度への身構えをつくっている姿。

Check（第5時）

「なりたい自分」に向けて大切にしたい心を見付けることができるように、ルーブリックを活用したり振り返りの視点を提示したりする。

Creativity（第5時）

「みんなの問い」についてじっくりと考える時間を設定することで、これまでの学習や経験を想起しながら自分なりの納得解を創り出すことができるようにする。

Critical Thinking（第2～4時）

「応援」について多面的・多角的に考え、新しい見方に気付くことができるように、教材や問い返し発問の精選をする。また、訊き合うことができるように、問い返し言葉を掲示する。

Collaboration（第2～4時）

多様な価値観に触れることができるように、自由に歩きながら話し合う場（「どうトーク」）の設定、学習形態の工夫を行う。また、子どもの考えを聞きながら、考えが深まるようにファシリテートする。

今の子どもの姿

学級目標の一つである「応援し合い」の下、本学級の子どもたちは友達への頑張る姿に対して自然と「頑張れ」と声を掛ける姿をよく見せている。その声をプレッシャーと感じる子どももいるが、応援することに対して否定的な捉えをしているわけではなく、くすのき学習を通して地域のプロスポーツチームを応援しようとする思いも芽生えてきている。そのような子どもたちにとって、応援に込められた思いや応援したりされたりする素晴らしさについて考えることは、誰かの力になったり、周囲の支えを力に変えたりするなど、支え合いながら生きていくことにつながるはずである。

単元構想の意義

1学期からくすのき学習で取り組んでいる「学級力向上プロジェクト」の一つとして、子どもたちは「できるようになったよ発表会」を企画した。この取組や持久走大会を通して学級目標「応援し合い」について考えることができると捉え、本単元を設定した。学級目標やくすのき学習、学校行事と関連させることで「学級・学校の形成者」の一人としての自覚を持って学習できるようになる。また、行動する機会との距離が近くなることで、実感を伴いながら道徳性を養うことができる。さらに、複数時間を掛けて「応援する側」「応援される側」の両面から「応援」について考えることで、多面的・多角的に「なりたい自分」について考えることができる。

本時の授業（4/5）

- 1 日時 令和6年11月19日（火）9:45～10:30
- 2 場所 4年星組教室
- 3 主題名 本当の親切・本当の応援（B 親切、思いやり）
- 4 教材名 心と心のあくしゅ（教育出版 小学道徳4 はばたこう明日へ）
- 5 目標 足が不自由なおばあさんに対する主人公の行動や思いについて考えることを通して、相手の気持ちを自分のことのように考え、進んで親切にする道徳的心情を育てる。

本時における「学びに向かう力」が涵養されている姿

- これまでの学習や経験を振り返りながら、自分なりの納得解を創造しようとしている姿。
- 多様な価値観に触れたり、少し立ち止まったりしながら、「応援する」について多面的・多角的に考えている姿。

本時で扱う主な内容項目について

【B 親切、思いやり】

思いやりとは、自分の思いを対象へと向けることである。そうすることでよりよい人間関係を築いていくことができる。

交流に幅や深さが出てくるこの時期の子どもは、自分だけで善いと思って相手の気持ちを考えないいわゆるお節介をしてしまうこともある。親切にする動機を明確にすることで「誰かのために」という思いを互いの幸せへとつなぐことができる。そのため、動機に注目しながら相手を思いやることや親切にするものの意味について理解し、相手の気持ちを考えようとする道徳性を養うことが大切である。

教材について

本教材は足が不自由なおばあさんに出会った主人公のぼくが、声を掛けたり、心の中で応援しながら見守ったりすることを通して、本当の親切に気がつき始めるという内容である。「応援し合う」について考える子どもたちにとって、動機に注目して「親切、思いやり」について考えることができる教材であり、独り善がりではなく、相手の気持ちを考えることの大切さに気付くことができる。また、何かをすることだけが親切なのではなく、相手の気持ちを考えた末の「何もしない」という行動にも、相手を思いやる気持ちが込められているということに気付くことができる教材である。

学習活動	1 本時のめあてを確認する。	2 教材を読んで、問いづくりをする。	3 つくった問いについて話し合う。	4 本時の活動を振り返る。
<p>予想される子どもの意識の流れ</p> <p>飛び箱の授業は「応援し合う」ができていたな。</p> <p>諦めずに努力する人は応援したくなる。</p> <p>感謝してくれる人も応援したくなる。</p> <p>声で応援する以外はないのかな。</p> <p>応援するときにはどんな心が大切なのかな。</p>	<p>あばあさんが無事でよかった。</p> <p>心と心のあくしゅができてよかった。</p> <p>予想される問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何もしていないのに、どうして心と心のあくしゅをした気がしたのだろう。 ・なぜぼくは何もせず後ろを歩いたのだろう。 ・ぼくはおばあさんの後ろを歩きながらどんなことを考えていたのだろう。 ・「心と心のあくしゅ」とは何だろう。 	<p>こっそり見ながら、本当に助けが必要なときに出ていく。</p> <p>心配だからやっぱり声を掛けると思う。</p> <p>自分がぼくだったらどうするかな。</p> <p>声を掛けることと後ろをついて歩くことの共通点は何かな。</p> <p>どちらもおばあさんのことを考えているよ。</p> <p>相手の気持ちを考えて行動しているところが共通している。</p>	<p>した方もされた方もいい気持ちになるところ。</p> <p>「応援する」とどんなところがつながるかな。</p> <p>相手の気持ちを考えるところ。</p> <p>相手に対する思いや願いみたいなことが大切。</p> <p>「自分がしたい応援」だと、相手にとってプレッシャーになることもある。</p> <p>時々「自分がしたい応援」になってしまったこともあった気がするな。</p>	<p>今日の学習をふり返ろう。</p> <p>相手の気持ちを考えて応援できる自分になりたいな。</p> <p>相手の気持ちを考えた応援っていいな。</p> <p>自分がそんな応援ができると、相手も誰かを応援したくなるだろうな。</p>
<p>指導（○）と評価（●）</p>	<p>○ 友達を応援している動画を視聴したり、前時までの学習を想起したりすることで、本時のねらいに対する方向付けをする。</p>	<p>○ 自分事の問題を持つことができるように、教材を読んだ感想を基にして問いの形に変えていく。また、みんなで考えたい問いの選択肢をつくり、選ぶことができるようにする。</p>	<p>○ 問い返し言葉を掲示することで、多様な価値観に出合える訳し合いができるようにする。</p> <p>○ 「相手の気持ちを考えて」という動機に注目したり、多面的・多角的に考えたりすることができるように、必要に応じて問い返し発問をする。 Critical Thinking</p> <p>○ 道徳的価値についての理解を深めることができるように、子どもの声を構造的に板書する。</p> <p>○ 友達の考えに感化されたり、話し合うことで自分の考えを深めたりしている姿に価値付けする。 Collaboration</p>	<p>○ 「なりたい自分」を再構築できるように、単元を通した振り返りの視点を提示する。</p> <p>● 相手の気持ちを自分のことのように考え、進んで親切にする道徳的心情を持つことができたか。 【道徳ノート】</p>